

科目名	社会学の世界				
英語科目		ナンバリング	GHsoc101		
開講期	春／秋	開講学部等	共通教育科目	配当年次	1 年次
教員名	李 為			単位数	2 単位

授業概要／Course outline

本授業は、社会学の基本的な考え方を学ぶことを通じて、〈社会学の世界〉への扉を開き、社会学の面白さを味わっていただくことを目的としています。社会学は、当たり前や常識を疑うことから始まる学問だとされています。社会的な思考力・想像力を身につけることで、これまでとは異なる角度から社会を見る楽しさや、今まで気づかなかった社会をめぐる課題を発見する力が養えます。社会学は、社会現象を客観的に捉え、分析することで、社会における様々な問題や課題を明らかにし、解決策を考える手助けをしてくれます。そのため、本授業を通じて、社会学の基礎的な理論や方法論を身につけることで、現代社会に対する理解力と洞察力を高め、社会を批判的に考える力を養うことを目指します。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

・その他

本講義はmoodleによるテストと課題提出の授業です。

授業内容・授業計画／Course description・plan

1. 社会学的世界と社会的想像力

社会学的世界は、特殊なものの中に一般的なものを考察するという視点に立脚している。これによって、特定の人々の行動に一般的なパターンを探究するのが社会的想像力を意味する。ここでは社会的な見方とそれが何かについて説明する。

2. ミクロの視点から社会を観る

人間の行為は、社会という文脈に置かれることで、他者とのコミュニケーションを通じて初めて意味を持つようになる。確かに、行為は社会の最も意味のある挙動であるが、つまり、行為を支えている規範と価値が見えてくる。ここでは社会学におけるミクロの視点を説明する。

3. プロセスの視点から社会を観る

人々は社会の安定を望めば、規範を守り、規範に沿って自分の言動をコントロールしなければならないが、時には一部の規範を逸脱した行為が社会の変革をもたらす働きを持っている。ここではその過程が社会に与えた影響を説明する。

4. マクロの視点から社会を観る

人が生まれてから死ぬまで社会化されていく。これもまた人間の文化的宿命だと言えるだろう。社会化とは社会的規範と価値を学んでいくプロセスである。人は社会化のプロセスにおいて、生存に必要な知識や技能を学んでいく。そのプロセスにおいて人が社会からどのように影響を受けているのかについてここで説明する。

5. 生活の中の社会的問題

人間と社会を考える際、政治や法律、経済といった側面から眺めるだけでなく、人々の日常生活の基盤となっている側面に注目することが重要である。日常生活で起きている問題を出発点とすることで、身近なものとして捉えやすくなるだろう。ここでは具体的な問題を取り上げて説明を行う。

6. 何が組織の効率性を上げるのか

フォーマル組織は企業や官公庁などの組織のうち、公的に定められた制度的な部分を指す。それに対してインフォーマル・グループとの対比で用いられるが、両者の関係はどのようなものかについて、具体例を挙げて説明する。

7. エスニシティと人種の違いはあるのか

マイノリティは少数民族と訳されるが、少数というのは数的に少ないというイメージがある。しかし、多数であってもマイノリティの場合がある。支配される側がマイノリティで、優勢でない無視されうる勢力を指す。しかし、人々がどのように認識しているのかについてここで明らかにする。

8. 社会の中の権力の正体とは

権力といえば、強制力を持つ力関係を思い浮かべる。しかし、市民の反対を無視して原発再稼働を強行したのは、国家権力である。国家権力にはこのように市民の反対を押し切り意思を貫徹する力がある。権力はどのような力なのか、どのように働くのかについて、事例を挙げて説明する。

9. 宗教倫理と企業家精神

社会学では、宗教倫理とヨーロッパの資本主義発展の関係議論がある。しかし、アジアの宗教倫理と資本主義発展の関係を見ると、儒教・仏教は資本主義の精神となりえないという見方もある。現代社会で企業家精神はどのように捉えられているのかについて説明する。

10. メディアと社会はどのような変化をもたらしたのか

現代はメディア社会と言われる。メディア社会が人間生活にどのような影響を与えようとしているのか。メディア依存社会論では、メディアの発達人がから現実感覚を奪う悪影響があると。大衆社会ではマスメディアへの依存が強まるという見方がある。それが文化にもたらした変化について説明する。

11. セックスとジェンダーとは何か

「男らしさ」と「女らしさ」は生まれつきのものなのか、意思で変えられるものなのか。それが社会・文化とどのように関わるのか。そのような「らしさ」の問題を自然視してしまう傾向について解説する。

12. 階級と階層

メリトクラシー社会では、学歴は階層移動の手段となるため、過剰競争・受験戦争を招く。一方、学歴は業績主義的でありながら属性化し、学歴主義を生むとも考えられる。これらの問題について解説する。

13. 都市と地域社会

都市社会学者の鈴木栄太郎によると、都市の本質は人々の活動を結び付ける機関(結節機関)にある。こうした機関が存在し人々の交流が行われる場所が都市的地域となる。このように都市をどう定義づけるか、発展をどう捉えるかについて理論を解説する。

14. 自由と社会性格

個人の意志や自由がどこから来るのか、社会的要因によるのか。自由があるから幸せになれるのか。これらの問いに答え、自由からの逃避と真の自由への欲求について現代的事象から説明する。

15. アジア的な文化と西洋的な文化

日本人は集団主義的とは考えられてきたが、それは日本人だけに当てはまるものではないだろうか。本講では、集団主義および個人主義について例を挙げ、東西の広い視野からこの問題を考える。

準備学習等 (事前・事後学習) / Preparation and assignments

事前学習では受講に必要な知識・意識を身につけるため、教科書や参考書の熟読を義務付けています。事後学習では講義内容を通じて講義の目的を明確化し、「事後学習レポート」の提出を求めます。なお、事前学習は各授業2時間、事後学習も各授業2時間必要です。

1. 社会学的世界と社会的想像力

事前学習: 高校の「社会」の内容を再確認しましょう。

事後学習: 社会学の世界と高校社会の違いを考えましょう。

2. ミクロの視点から社会を観る

事前学習: ミクロの意味について考えましょう。

事後学習: ミクロ視点のポイントを再確認しましょう。

3. プロセスの視点から社会を観る

事前学習: ミクロ視点の注意点を復習しましょう。

事後学習: ミクロ視点とマクロ視点の違いをまとめましょう。

4. マクロの視点から社会を観る

事前学習: 両視点の違いを再確認しましょう。

事後学習: 3つの視点の違いをまとめましょう。

5. 生活の中の社会学的問題

事前学習: 日常の問題点を考えましょう。

事後学習: 生活の社会学的問題の意味を例とともにまとめましょう。

6. 何が組織の効率性を上げるのか

事前学習: 仲間グループと組織の違いを考えましょう。

事後学習: 両グループの違いをまとめましょう。

7. エスニシティと人種の違いはあるのか

事前学習: 人種に関するニュースを調べましょう。

事後学習: 人種問題の社会学視点をまとめましょう。

8. 社会の中の権力の正体とは

事前学習: 現存する権力を調べましょう。

事後学習: 権力の強制力についてまとめましょう。

9. 宗教倫理と企業家精神

事前学習: 企業の不祥事を調べましょう。

事後学習: 求められる企業家精神をまとめましょう。

10. メディアと社会の変化

事前学習: 「メディア社会」の意味を調べましょう。

事後学習: 大衆社会、文化の概念を自分の言葉で説明できるよう復習しましょう。

11. セックスとジェンダーとは何か

事前学習: 「らしさ」の変化を考えましょう。

事後学習: 社会学の「らしさ」研究を再確認しましょう。

12. 階級と階層

事前学習: 「1億総中流」を調べましょう。

事後学習:日本の中間層の特徴をまとめましょう。

13. 都市と地域社会

事前学習:都市と農村の違いを調べましょう。

事後学習:日本のコミュニティ特徴を確認しましょう。

14. 自由と社会性格

事前学習:自由と不自由の例を考えましょう。

事後学習:自由と幸せの関係をまとめましょう。

15. アジア的・西洋的文化

事前学習:集団主義と個人主義の違いを学習しましょう。

事後学習:「罪の文化」と「恥の文化」について学習しましょう。

授業の到達目標/Expected outcome

普段から新聞記事に目を通し、社会について広く関心をもつとともに、一般的な知識を吸収しながら、初歩的に社会的な眼差しや思考方法を習得することがこの講義の到達目標です。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- ・思考力
- ・幅広い教養

履修上の注意/Special notes, cautions

授業は主として講義方式で、授業への参加度を重視します。最初の講義時に講義概要および注意点について説明を行いますので、必ず出席しましょう。

授業中小テスト、中間テスト、事後学習の課題、期末テストは大学システムのムードルを使って行います。

受講態度が目に残ると教員が判断した場合は減点の対象とします。

出席回数が全講義の2/3以上ない場合、評価は「/(出席日数不足)」とします。

評価方法/Evaluation

授業態度と授業中の小テスト(50%)、中間テスト(20%)、事後学習課題(10%)、臨時試験(期末テスト)(20%)に基づいて総合的に評価します。原則として出席が3分の2に達していない者(特別な理由がある人は除く)は、成績評価の対象外となります。

質問や相談の方法/Instructor contact

研究室:第1研究室棟853室

オフィスアワー:火曜日(12:15~13:10)

連絡先:moodleに記載するメールアドレス

授業に関する質問や相談などがある場合は、上記時間に研究室へ訪問するか、メールで質問すること。

その他/Others

推薦読書

1. 那須壽編著『クロニクル社会学:人と理論の魅力を語る』有斐閣アルマ
2. ブルーム(ほか)著/今田高俊監訳『社会学』ハーベスト社
3. アンソニー・ギデンズ著/松尾精文(ほか)訳『社会学』而立書房